

平成 25 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	長森児童センター	所管課	福祉部子ども家庭課
所在地	岐阜市野一色4丁目11番4号		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	14,198,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造平屋建 ◇敷地面積:1,412.06㎡ ◇延床面積:440.25㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、集会室兼図書学習室、おもちゃ図書館、事務室、駐車場		

●利用状況

		H25 下半期	H25 上半期	H24 下半期	H24 上半期	H23 下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	13,948	15,367	14,186	15,975	13,337
	移動児童館利用者数	196	466	381	389	552
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	3	9	7	6	7
	開館日数(単位:日)	151	156	151	157	152

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長(嘱託職員)、児童厚生員(正規職員1人、嘱託職員1名) ③広報誌「あそぼっけ」及び「幼児版あそぼっけ」の作成・配布、児童館ホームページへの掲載。ぶりあネット登録。 ④苦情・クレームについては、マニュアルに従って対応。アンケート結果は館内に掲示。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、④適切に実施。 ②ボランティアの協力を得て、環境美化の行事を行っている。 ③使用していない部屋の消灯、エアコンの適正室温の設定等による節電を実施。廃品の再利用(リサイクル、リユース)に努めた。 ④おもちゃ病院のボランティアによる定期的なおもちゃの修理
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①子どもがドアに挟まれる危険があったため、市に依頼し、正面玄関を自動ドアに改修した。 ②ボランティアの協力を得て修繕を行った。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③について、マニュアル等に沿って適切に実施。事故対応マニュアルを作成して、設置している。防災訓練を月1回実施。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	平成26年3月7日～3月20日に幼児クラブ参加者の保護者にアンケート(無記名)を実施 回答者62名(回収率100%)	
利用者アンケートの実施結果	○幼児クラブの満足度	満足77%、ほぼ満足23%、やや不満0%、不満0%
	○職員の満足度	満足92%、ほぼ満足8%、やや不満0%、不満0%
	○施設の満足度	満足48%、ほぼ満足48%、やや不満2%、不満0%、未回答2%
	○楽しかった活動(複数回答)	体操、楽器遊び、絵本・紙芝居の読み聞かせ、運動会ごっこ、おにたいじ お店屋さんごっこ、おさんぽ、電車ごっこ、スタンプラリー
利用者からの要望・苦情と対処・改善	要望⇒回答 ・暖房の温度をもう少し上げてほしい⇒寒い時は申し出てください ・まだ目が離せない頃の子どもが1人でいたりするので、部屋の見回りをしてほしい ⇒極力注意はしていますが、基本的にはお母さんがお子さんから目を離さないようにお願いしたいです。 ・トイレに扉があるとうれしいです⇒構造上難しいと考えます。 ・ホールの床が冷たい⇒申し訳ありませんが、ご自分で暖かくしてお越してください ・子どもの洋式トイレがほしい⇒大人用洋式トイレに子ども用便座を載せてご使用ください。 ・学年別のクラスにしてはどうか⇒現在も月齢で分けており、かぐやひめクラブの3学期のみ同じ学年で統一します。 ・お弁当やおやつを食べられるとうれしいです⇒衛生面を考えてご遠慮いただいているので、ご理解をお願いします。	

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	A	S	S
		区分評価			S	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他の団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	A	A
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	<input type="checkbox"/> 子育て支援事業を積極的に行い、子育て不安軽減のため、努力した。 <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児と保護者対象の登録制幼児教室を実施した。(24年度下半期40回→25年度下半期44回) ・乳幼児と保護者対象の自由参加クラブを実施した。(24年度下半期16回→25年度下半期16回) <input type="checkbox"/> 子育て不安を抱える保護者への相談支援を下半期6回実施し、10人の相談者の受け入れをした。 <input type="checkbox"/> 回覧板を実施した。(25年度下半期3,200部) <input type="checkbox"/> 図書の貸し出し 下半期232冊
前回までの意見を踏まえた取組み状況	<input type="checkbox"/> 平成25年度上半期評価委員会からご指摘があった、各施設でノウハウの共有については、毎月の所長会や職員研修会で会得した情報を参考にし活動をしていきたい。
今後の取組み	<input type="checkbox"/> 回覧板の活用について <ul style="list-style-type: none"> ・回覧板を配布することによって、一戸一戸の目に止まるようになり、乳幼児連れの親子が児童センターを利用することについて、家族の理解を得やすいという意見や、回覧板を見て利用する気になり来館したという意見を頂き、回覧板の効果が徐々に表れてきたので、引き続き回覧板を配布していきたい。 ・回覧板による移動児童館についての情報提供の他、放課後児童クラブへの積極的な働きかけを行い、移動児童館の増加を目指している。

●所管課の意見

<p>児童センターのお便りを毎月担当5地区の児童全員に配布しており、その他にも回覧版(3,200部)で地域に行事の周知を行ったり、幼児クラブや子どもの発達相談の開催日等が掲載された子育て支援用の広報誌を学期ごとに作成してコミセン・保健センターに配置したりするなど、広報活動に努めた。</p> <p>毎週土曜日に卓球大会やけん玉大会等、子どもたちの興味を引くような行事を実施した他、初めて来館する中高生にも優しく接し、来館促進につながるよう努めた。</p> <p>アンケートの実施により利用者の要望を把握し、絵本の場所移動や新しいおもちゃの購入など、可能な限り改善するよう努めた。</p> <p>地域ボランティアを活用して、おもちゃ病院によるおもちゃ修理やおはなしサークルによる「おはなしの会」を毎月実施した。</p> <p>主任児童委員の会議では意見のコーディネーターを務めると共に子どもの様子について情報提供を行い、地域との連携を深めた。地域の青少年育成協議会主催の「親子ふれあい教室」の支援を行うなど、地元の社会活動へも参加している。</p> <p>職員体制や経営状況については、問題なく運営が行われた。</p>
--

●指定管理者評価委員会の意見

<p>今日の児童館の役割をよく理解し、積極的に事業に取り組んでいる。</p> <p>小学校やボランティアとの連携ができています。</p> <p>適正に管理運営されており、良好であると認められる。</p>
